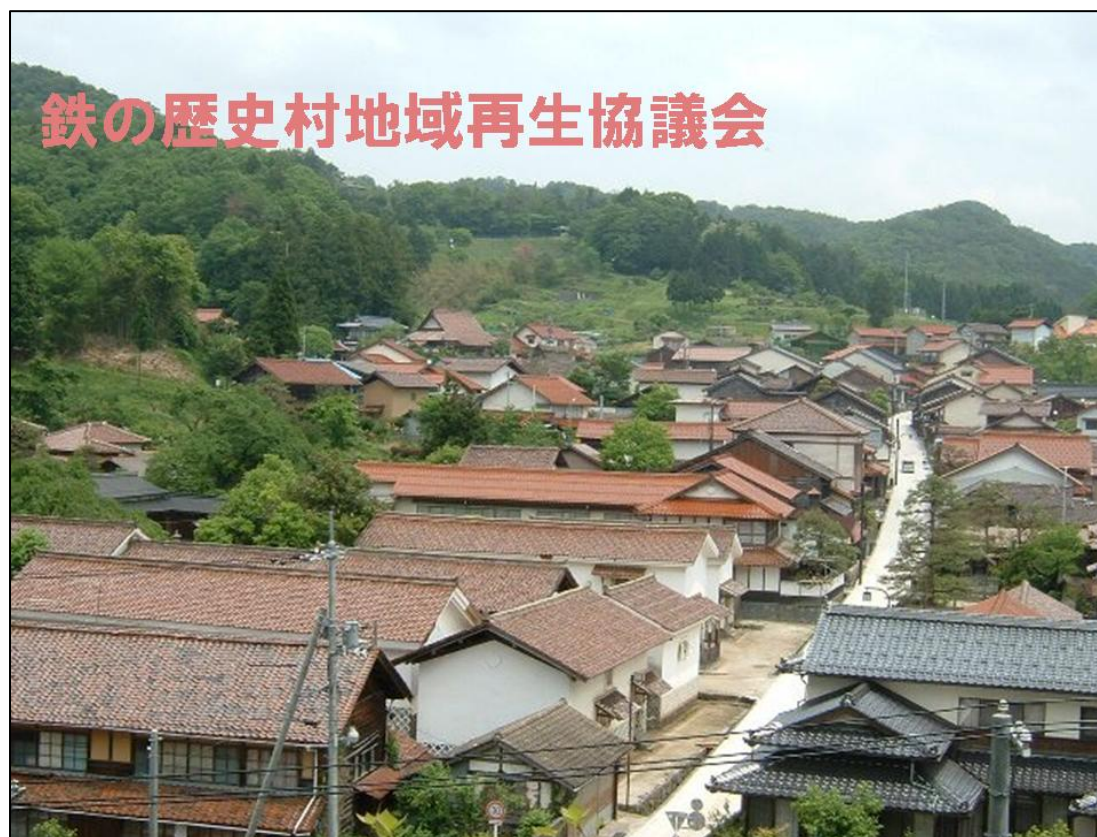


V. 島根県雲南市







鉄山師の町並みづくり



これまでの成果

①「鉄の歴史村」という地域の”顔”としての個性を表現し、発信することができた。

②それぞれの役割を担う組織を整えることができた。

《文化》(財)鉄の歴史村地域振興事業団

《産業》(株)吉田ふるさと村（第3セクター）

《交流産業》(株)鉄の歴史村（まちづくり会社）

《交流型農業》(有)木村有機農園（農業法人）

《住民活動》NPOまちづくりコラボレーション島根

【課題】

文化事業の推進、交流活動、産業を担う組織を立ち上げてきた。



特に「交流」や「ものづくり」の分野で

①組織を動かす人

②活動に参加する人

③活動を応援する人

の充実が必要！



まずは、活動に関わる参加の機会づくりが必要！！



幹部会、スタッフ研修会の開催



「鉄の歴史村 i n カラコロ」（松江市）



「鉄の歴史村 i n カラコロ」（松江市）



「鉄の歴史村 i nカラコロ」（松江市）



「鉄の歴史村 i nカラコロ」（松江市）



～鉄の輸送船「北前船」寄港地の食とふるさとグルメのにぎわい～

（地域再生を担う人づくり支援事業）

晩秋の吉田町は熱い！

鉄の歴史村
雲南市吉田町

おっちゃん祭り

11/22 日 11:00～16:00

本町通り界隈 ふれあい坂 稲わら工房

主催：ごっつおさん祭り実行委員会（鉄の歴史村地域再生協議会）

お問合せ：ごっつおさん祭り実行委員会事務局
Tel. (0854)74-9118

スペシャルイベント

★第1部 11:00～

スタンプラリーで
先着100名様に
500円券
プレゼント

ツーリズムOJT“ごっつおさん祭り”



ツーリズムOJT“ごっつおさん祭り”



ツーリズムOJT“ごっつおさん祭り”



ツーリズムOJT“ごっつおさん祭り”



北前船がつなぐ地域文化フォーラム



ツーリズムOJT“ごっつおさん祭り”



ツーリズムOJT“ごっつおさん祭り”



■事業の成果

- ①ものづくりOJTの「試験販売」、ツーリズムOJTの「ごっつおさん祭り」で、楽しさや手ごたえを感じ、より工夫をしていこうという意欲が高まった。
- ②地元の同業者や住民が、協力して行うことで、新たな活動への試みができることを実感した。
- ③地域の資源や個性を再認識し、これを活かす方法が広がった。
- ④近隣の住民や市役所、県庁と協力して活動を行うことで、つながりを持つことができた。

■ これからの活動

① ツーリズムイベントや試験販売活動を継続し、参加の機会をつくっていく。

② ツーリズムの活動を継続し、さまざまな企画に対応する受入体制を整えて行く。

③ 協力して新しい商品を開発し、「地域の名物」づくりを行う。

④ 多様な「人材」が活動に参加することで、「文化」「産業」「交流」などの役割を担う各組織の活動を強化していく。



元気笠岡推進協議会(岡山県・笠岡市)

笠岡情報ハブ構築と人材育成

- **平成21年度担い手育成を進めるポイント**
 - ・ 地域の情報ハブを作り上げる。
 - ・ 情報発信・情報共有で地域連携をすすめ地域の活性化を！
- **昨年度事業の教訓**
 - ・ 地域情報が把握できない。(連携の土台が出来ていない。)
 - ・ 個々の団体が同じようなミッションで個別に活動している。

元気笠岡推進協議会(岡山県・笠岡市)

笠岡情報ハブ構築と人材育成

➤ 具体的な施策



元気笠岡推進協議会(岡山県・笠岡市)

車座と実践の過程1

●情報サポーターの育成
パソコンクラブとの連携で「
情報サポーター」の育成を



ポーター研修会

●大仙院のお参りの仕方講
習会2009.11.30



●婆ちやるショップ
高島家の実施



希望園(干拓地)



12月10日
ツアー化

元気笠岡推進協議会(岡山県・笠岡市)

車座と実践の過程1



元気笠岡推進協議会(岡山県・笠岡市)

車座と実践の過程2

●情報サポーターの
育成講座を通して
第1回・第2回 情報サポ
ーター研修会

情報を発信すべき人の意
識付け……地域情報を
出せる、出すことが仕事
の一環である。

●地域情報に向けて

1月26日 市内公民館主
事に向け情報発信の必
要性についての研修会
2月9日 地域情報の共
有研修会(各公民館情
及び統合スケジュール化)
2月18日 地域情報の共
有研修会(笠岡諸島公民
館ブログ・カレンダー研修
)

●地域情報の発信
と情報共有

情報が集まり、情報共有
が地域の活性化につな
がる事例を模索。
2月18日 各地区の意
芋の
情報発表会とそれに合
わせたツアーの企画

あなたも街の添乗員プロ
ジェクト

2月26日
モニター
ツアー化

元気笠岡推進協議会(岡山県・笠岡市)



元気笠岡推進協議会(岡山県・笠岡市)

2月26日(金)あなたも街の添乗員プロジェクト



「あるでばらん」にだわり染色



「うれしいひなまつり」陶山公民館



各地区ごとにスタッフが説明



瀬戸の市: 組合長の説明



「疫神社」大ふじを求めて



振り返り・意見交換



「采女ファーム」にだわり卵

元気笠岡推進協議会(岡山県・笠岡市)

あなたも街の添乗員プロジェクト アンケート結果

- 他地域を訪問することで自分の地域との比較が出来る。
- 他地域の人がいろいろ各々の地域のことを良く知っていると自分の地域をもっと知ることが必要だと感じる。
- 自分たちの住んでいる笠岡市の事をほとんど知らないことに気づく。
- 本当に地域で頑張ってる人が報われるように地域を盛り上げていくことが必要。
- 地域で信念を持って取り組んでいる人を知り、共感した時にそのつながりは強いものになる。今はそんなつながりが求められる。

元気笠岡推進協議会(岡山県・笠岡市)

あなたも街の添乗員プロジェクト アンケート結果

- 地域の情報発信は必要ですか。
大変必要 4 必要 11 必要ない 0
- 地域情報発信の担い手は誰か
行政 4 公民館 4 まちづくり協議会等 12
- 今後このような取り組みが必要だと思いますか？
おおいに必要 4 必要 11 必要ない 0
- この取り組みを続けたいと思いますか？
おおいに続けたい 2 方向付けが必要 11
個人的にも関わりたい 2 その他 1 思わない 0

元気笠岡推進協議会(岡山県・笠岡市)

東地区情報 西地区情報 南地区情報 北地区情報 中地区情報

メインコンテンツ

- ホーム
- 情報検索
- 新着記事
- 市内公民館情報
- 笠岡元気ブログ
- 添乗員プロジェクトツアーマップ
- 笠岡、いここ動画マップ
- 元気笠岡フォトアルバム
- 動画コンテンツテスト
- 事務局より
- 広報資料
- プロジェクト
- 行事カレンダー
- リンク
- アクセスマップ
- お問合せの連絡
- リンクリスト

コミュニティ

- フォーラム
- 初めての笠岡へ
- サイト利用Q&A
- 記事作成マニュアル

みんなで笠岡を元気にするサイト！

元気笠岡推進協議会

元気笠岡推進協議会の公式サイトへようこそ。

当協議会は、笠岡南部(笠岡港島)、中央部(駅前地区商店街)、北部(内地部)との連携を図り、元気な笠岡を作り出す運動の一步を踏み出しました。まず、笠岡駅前地区商店街との連携を図るために、一緒にサポートしていただけるスタッフを募集します。

活気を生み出す為の企画の提案、実施等、少しでも多くの方の御意見を聞かせいただきました。

次回元気笠岡行事

01.03.2010 13:00 - 18:30
担い手育成事業報告会(東京)

SNAP 駅前地区

SNAP 笠岡港島

最近の話題

- 東地区いここ動画マップ
- 笠岡、いここ動画マップ
- 添乗員プロジェクトマップ
- 吉田公民館情報
- 北川公民館情報
- 飛鳥公民館情報
- 市内公民館情報

担い手育成の成果について

- **地域情報に関わる人材の意識改革**
 - ・ 公民館主事の情報発信に関わる意欲／意識の創出ができた。
 - ・ 公共側からの情報発信することに関しての問題点を見出すことができた。
 - ・ 情報の責任所在／公平性が情報発信を阻害する。
 - ・ 事務量等の問題。(事務量の増加を嫌う)
- **ブログ・予定表共有を有効活用する可能性を見出した。**

担い手育成の成果について

- **笠岡情報ハブへの協力者の出現・・・ビジネス化の道**
 - ・ 旅行エージェントも新しいツアー企画の手法として注目～商品化を検討
 - ・ 情報ハブを専門家向けに利用する計画の提案があった。
 - ・ 地域のケーブルテレビも協賛。(地域情報を得る仕組みを模索中であった)

元気笠岡推進協議会(岡山県・笠岡市)

まとめと今後の展開

➤ 担い手育成のポイント

- ・ 人材を育てる仕組み作り
- ・ 組織・・継続的な地域の担い手育成のためには組織が必要（NPO法人元気笠岡の設立）
- ・ 資金・・組織の運営のためには必ず資金が必要
 - ・ あなたも街の添乗員ツアー等の仕組み作り・収入源確保
- ・ 情報・・地域の活性化のためには地域の情報共有が大前提～笠岡情報ハブの継続

➤ 「人づくりと情報の蓄積を並行して行える手法の開発」

- ・ 担い手となりうるすそ野を広げる。

観光エージェントの視点からの地域情報のまとめ方

(参考)

元気笠岡推進協議会(岡山県・笠岡市)

地域連携

地域ボランティアガイド
Or NPO

窓口の一本化
相互のPR

団体受入対応
バス単位

イベント
スケジュール

昼食対応
1500~4000

産業観光
工場見学リスト

SPORTS施設
情報

写真
MAP
立ち寄りSPOT情報
滞在時間
見所説明
P

紙資料
WEB

VII. 沖縄県やんばる3村

やんばる3村 滞在周遊型観光と協力体制の構築



沖縄県
やんばる交流推進連絡協議会
(国頭村・大宜味村・東村)

やんばる交流推進連絡協議会(沖縄県)

やんばる3村の問題・課題



- やんばる3村は、沖縄本島北部に位置し日本国内でも生物多様性が高く、世界的にも重要な地域として注目をあびているやんばる(山原)の森が全体面積の80%を占める自然豊かな地域である。
- しかし、3村とも全国の地方の集落同様に少子高齢化や年少人口の減少による過疎化の問題に直面している。
- そこで、交流人口の増加による地域活性化を図るため平成20年「やんばる交流推進協議会」を立上げ修学旅行等の宿泊型体験学習の受入に取り組んで来た。
- しかし、新規事業のシステム構築不足により取組が前進していない状況である。

やんばる3村での実施目的

- やんばる3村の住民が協働した取組を実施することにより、組織の体制強化を図るため、下記の取り組みを企画・実施した。

3村内で協力し、宿泊体験型修学旅行の受入



ヤンバルテナゴコガネ 国天

3村外においては、沖縄県主催するイベント「花と食のフェスティバル」に参加し協同で2日間PR活動



ヤンバルクイナ 国天

関連事業

3村内においては、地域の方を対象にした各3村のフィールドを使用する方法で地域を学ぶイベント



ノグチゲラ 特天



塩屋のウングミ
重要無形民俗文化財

活動組織図

やんばる交流推進連絡協議会

(宿泊体験型修学旅行受入れや3村内外へのPR活動を実施)

くにながみ村交流
推進協議会

おおぎみ・まるごとツー
リズム地域協議会

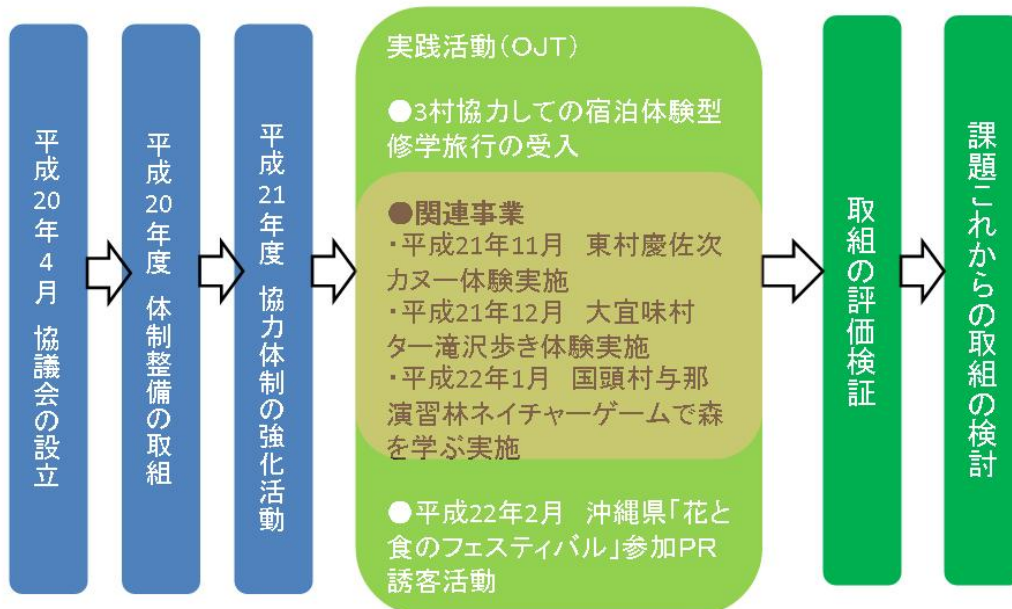
東村観光推進協会

やんばる3村持続可能な地域づくり応援講座

(やんばる3村内向けの勉強会を実施)

共通目的の関連事業

活動全体の流れ



実施状況 3村内において

3村住民が協力して、宿泊体験型修学旅行の受入実施。

4人～5人の生徒を各家庭へ民泊させ、農業を中心としたその家庭の施業を体験させた。



受入式



農業体験の様子①



農業体験の様子②



シーサーづくり

実施状況 3村外において

沖縄県民の方々にもやんばる3村をPR
平成22年2月6日・7日にイベント「花と食のフェスティバル」に参加、ブース前では各3村の特産品の展示と当協議会が推進しています内容記載のパンフ・パネルを展示・説明・アンケート調査まで行いました。



イベント概要



協議会ブース内の状況



ブース前での説明



イベント全体状況

実施状況 3村内において (関連事業)

: 地域の方がやんばるの地域資源を学ぶ!!

- ①東村では慶佐次川でカヌー体験とマングローブを学ぶ
 - ②大宜味村ではター滝までの沢歩き楽しみながら川と周辺の生き物を学ぶ
 - ③国頭村では与那演習林にてネイチャーゲームしながらヤンバルの森を学ぶ
- ※毎回約30名の親子が参加好評でした。



案内ポスター



ネイチャーゲームの様子



川の生物の説明



参加者の皆さん

得られた成果

3村活動協力者の増加

3村連携した修学旅行の受入や、村民対象のツアープログラム実施などにより、3村連携活動への参加者が増加してきた。



やんばる3村内

別事業で行った3村住民に地域資源を知ってもらう企画がかなり好評で継続的に行う予定です。
又、関心のある人には運営委員会に参加してもらうよう促す。



やんばる3村外

イベント会場でのPR活動は初めてであったが、3村スタッフが協力して楽しく出来たので、これからも県内・県外での実施を検討していく。



残された課題と今後の取組

残された課題

- 地域窓口の受け入れ体制の整備
- 独立した事務局運営のための自主財源の確保
・ツアー参加料の単価 特産品の開発と販売
- 大口修学旅行生の受け入れ体制
- 3村協議会の内部・外部へのPR不足
- 地域リーダーの不足・発掘・人材づくり



今後の取組

- 地域資源に関する地元向けのスキルアップ勉強会
- 県内・県外に向けてのやんばる観光PR活動の実施
- 協議会組織の体制強化
- 持続可能な地域づくりの勉強会
- 3村協力した修学旅行等の受入



沖縄・やんばる3村協力して、滞在周遊型観光による
持続可能な地域づくりを目指します。



沖縄県
やんばる交流推進連絡協議会
(国頭村・大宜味村・東村)

